



# つばめ農園おひさま便り

31

安溪貴子・安溪遊地

## 「直せない農機具はない」

阿東つばめ農園では、イセヒカリの苗が順調に育ち、田植えが終わって除草機が活躍する時季に入っています。こんな時には農機具の点検と修理が欠かせません。全部で一ヘクタールほどで、農機具の補助金などがもたらえる規模ではありませんから、大きな農機具は基本的にも中古で入手して、直しながら使っています。田んぼの師匠の吉松敬祐さんの口癖は「直せない農機具はない」なのですが、最近のコンピュータ搭載の機構などはそうもいきませんし、農作業の最中に壊れたら、自分でゆっくり直している暇はありません。

現在使っている三三馬力のトラクターは、一昨年耕耘部分を回すチェーンのケースが破れて、その部分全体の歯車ごとの取り替えを業者に頼みました。昨秋は、コンバインで稲刈り中に、ゴムのクローラー（履帯）が切れたので、新しいものを発注しました。翌日には来てくれて、田んぼの中で一本九五キロもある新品と交換。この手の修理は一回三〇万円とします。泥のついた農機具を洗う高圧洗浄機が壊れたのは、新品に買い替え、有機肥料をまくための動力散布機は、ジャンク品を買ったものです

が、割れた肥料タンクは、部品代が原価の三倍近くしました。去年から農機具を雨ざらしでなく、ポリハウスの中にも収納できるようにして、保管条件は改善されたのですが、それでもプラスチックは紫外線ですだいに劣化するのですね。田植え機を乗用除草機にした「あめんぼ号」の草取り車の歯も折れはじめましたが、この部品は限定生産品でお値段高めです。主に輸入にたよっている工業製品は、このたびの円安でますます高くなるでしょう。それでも、これらの費用は、営農ソーラーからの毎月の収入でカバーできる程度です。課題は、大型の機械の買い替えにどう備えていくかです。おひさま発電所で捨てている昼のピーク電力を活用して、つばめ農園の農業機械や自動車が動くようになるのは何年ぐらい先でしょうか。

## 和蜂とイセヒカリ御田植祭

五月末のある日、和蜂（ニホンミツバチ）の巣箱がつばめ農園にやってきました。阿東つばめ農園の応援団をしてくださいたい、瀬戸内海側の防府市富海で、自然生活のかたわら、藍の里づくりなどのさまざまな地域おこしを仕掛けておられる白井大和

さんのご厚意です。以前、すぐ近くの吉松農園で二〇群も飼っていた和蜂の群れが巣にもどらずにすべて失われたということを知っていますので、広大な水田でのネオニコチノイド系の農薬散布がさかんな阿東では、飼育が難しいのではないかと一度はご辞退もうしあげたのですが、それでも届けてくださったのです。今年は大豆を植えることにしている菅農ソーラーの田んぼの上手の、SL走る阿東高原を一望にする見晴らしのいいところに二つの巣箱を並べました。初日は帰る場所を間違えて隣の巣箱に入ろうとして、匂いが違うらしく取っ組み合いになったりしていましたが、翌日には落ち着きました。攻撃性がなくて穏やか



つばめ農園にやってきた和蜂たちとごむ



な和蜂たちが働くようすを、巣箱の前のクローバーの上に寝転がって眺めていると、あらたな仲間が増えたりうれしさがこみあげてきます。

前号に写真を出した、日本の種子を守る会の山田正彦さんから電話がありました。#稲の多年草栽培の挑戦に使いたいから、古代米的な能力を秘めているようなイセヒカリの種子が余っていないかという問い合わせでした。ちょうど無農薬栽培の種籾で尖った芒を取って、六〇度七分間の温湯殺菌をし、人肌ぐらいの催芽機に二日ほど入れ、芽と根が膨らんで鳩胸状になったものを乾燥した播種直前のものが、五キロばかり余っていましたので、それをお回しすることにしました。今回は発芽玄米として食べる予定でしたから、通常の種籾の半額でご提供しました。

同じ頃、山口県神社庁の若手神職のみなさんの主催で、第三回イセヒカリ御田植祭のご案内がありました。一〇年来のイセヒカリ農家として、つばめ農園

の家族三人で出席しました。場所は、山口市小鯖の山村で、吉松さんからイセヒカリの種籾づくりを引き継ぐことになった米本さんの田んぼです。以前、猪の肉や骨や頭、狸や狐の肉をいただいたことがあったり、遊地はお孫さん二人を大学・大学院で教えたこともありしたので「ああ、あの#狐肉を食べた先生」とすぐに思い出していただきました (<http://ankei.jp/yui/?p=188>)。斎服をまとった三人の神職が、笙を吹いて神を迎え、厳かに祀りを進行します。若手神職たちの手植えに先立つ挨拶で「伊勢神宮の職員で山口でイセヒカリの原種が作られていることを知らないものは一人もありません」という言葉が紹介されたのが印象に残りました。#山口イセヒカリ会の会長である宮司様に、つばめ農園を会員に入れてくださるようお願いしました。

(つづく) (あんけいたかこ・あんけいゆうじ)



QRコードにスマホをかざすと、各サイトが見られます。文中の#マークはパソコン検索用です。

[a@ankei.jp](mailto:a@ankei.jp)

<http://ankei.jp>